

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

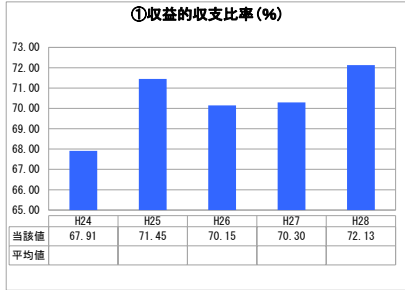
神奈川県 二宮町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	86.26	94.78	2,624

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
29,087	9.08	3,203.41
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,040	3.82	6,554.97

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



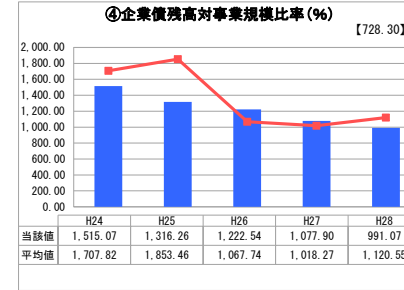
「単年度の収支」



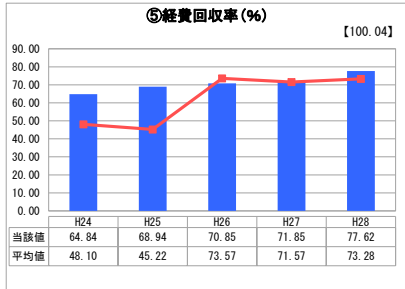
「累積欠損」



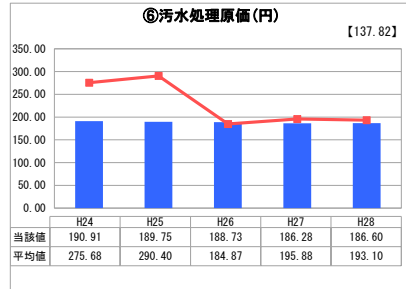
「支払能力」



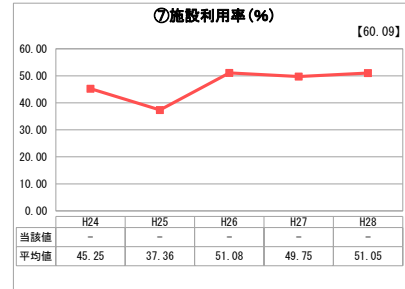
「債務残高」



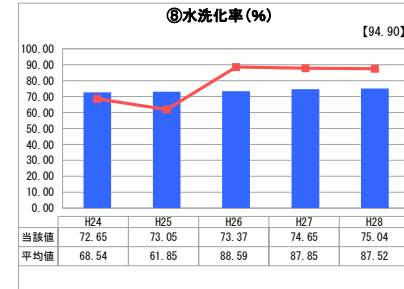
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

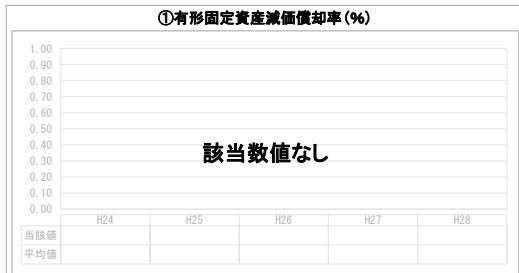


「施設の効率性」

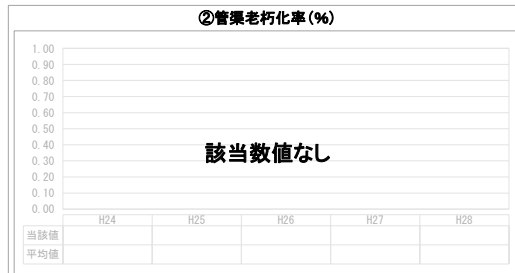


「使用料対象の捕捉」

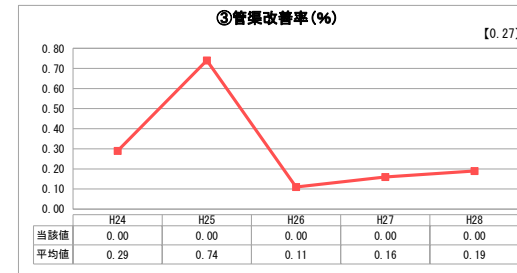
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

単年度の収支を示す収益的収支比率が100%に満たない状況が続いており、経営の健全化が課題となっていたことから、平成28年7月に供用開始後3回目となる使用料改定を実施しました。

改定の結果、平成28年度の使用料収入は前年と比べて増加し、他方で事業の経費を示す指標である汚水処理原価に大きな変化はなく、前年とほぼ同じ水準で推移したため、収益的収支比率が若干の上昇、経費回収率についても類似団体平均を上回る水準まで上昇しており、今回の料金改定は経営状況の改善に一定の効果を上げたと考えられます。

今後は人口減少、節水志向などによる使用料収入の減少、また、当面の間は借り入れてきた地方債の償還額が増加することが見込まれます。これらに対応するため、安定した事業の経営に向けた検討が必要です。

### 2. 老朽化の状況について

本町の下水道施設は、整備開始が平成3年度、供用開始が平成11年度であり、比較的新しい施設であることから、現時点では老朽化状況の調査等は未実施となっています。

今後、未普及・整備の完了を前に、適切な維持管理を行えるよう、調査を含めたストックマネジメント計画の作成について検討を進めます。

## 全体総括

今後に見込まれる人口減少等に伴う使用料収入の縮減傾向の予測を踏まえ、類似団体平均と比較して低い水準にある水洗化率を改善することで、使用料収入の増加、経営の安定化を図ります。

使用料水準の見直しについては、今後の事業に要する経費の動向に基づく必要性に加えて、平成28年度に改定を実施した直後であること、また、改定後の使用料が近隣自治体の中では比較的高い水準にあることなども考慮しながら慎重に検討を進めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。